A27 捕食性天敵*Hydorotaea aenescens*によるイエバエ防除の基礎的検討：Ⅱ. *H. aenescens*によるイエバエの羽化阻止効果新庄伍朗[○]・永田健二・奥田寿男（シントーファイン㈱）

Fundamental studies on house fly control with the larval predator, *Hydorotaea aenescens* (Diptera:Muscidae). Ⅱ. Inhibitory effect on emergence of the house fly, *Musca domestica*.

Shinjo G., Nagata K. and, Okuda H.

*Hydorotaea aenescens*は、幼虫期にイエバエ類の幼虫を捕食することが知られており、前報では、主に生活環および殺虫剤感受性の調査を行った。本報では、本種を用いた、イエバエ防除の可能性を評価するために、閉鎖系室内において、培地混入法により本種の捕食効果を検討した。*H. aenescens*幼虫とイエバエ幼虫をイエバエ用培地中で混合飼育した場合、幼虫投入時の発育ステージや、投入数が適切であると、*H. aenescens*幼虫の捕食により、イエバエ成虫の羽化数が著しく減少することが確かめられた等の知見が得られたので報告する。

A28 イエバエを利用した鶏糞の分解処理(5)イエバエ幼虫乾燥体の鶏への投与実験

稲岡 徹（竹中工務店・技術研究所）

Degradation of chicken feces by using house fly larvae (5)

Feeding experiments on chickens with dry house fly larvae

Inaoka, T.

鶏糞をイエバエの食糞性を利用して分解処理すると大量のイエバエ幼虫・蛹が得られる。これが鶏の飼料原料となれば、鶏糞のリサイクル利用が実現する。イエバエ幼虫・蛹の体成分は、鶏の動物性蛋白質飼料原料として広く用いられている魚粉と酷似しており、同様の利用が可能であることは、十分に予想できたが、魚粉との優劣を比較するため、鶏に対する投与実験を実施した。まず酸化クロムを用いたインデックス法により、イエバエ成虫乾燥体の、鶏における代謝エネルギーを測定して3.79kal/gの値を得た。これに基づいて実験飼料の諸成分の配合割合を決定してブロイラーの雛に投与し、同じ割合で魚粉を含む対照飼料を与えた雛と生育状況を比較した。実験飼料投与群と、対照飼料投与群で、雛の飼料要求率には有意の差はなかったが、発育体重・増体重では実験飼料投与群が上回り、イエバエ幼虫乾燥体が、鶏の動物性蛋白質飼料原料として、十分に魚粉の代替品となり得ることが示唆された。